

# 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

## 事業名 医療機関等物価高騰対策交付金（食材費分） (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療企画係 電話番号：058-272-1111(内3240)

E-mail : c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 65,975 千円 (前年度予算額： 0 千円)

### <財源内訳>

区分	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	65,975	0	0	0	0	0	65,975	0	0
決定額									

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・医療機関においては、診療報酬とは別建ての入院時食事療養費という公定価格の下で食事療養を提供しているが、昨今の食材料費の高騰により病院経営に大きな影響が生じている。こうした事態は経営面の影響にとどまらず、コスト削減のため、食材料費の節約、病院食の質の低下を招き、管理栄養士などから成るチームによる患者への栄養指導・支援等の能力を十分に発揮することができなくなるおそれがある。
- ・食事療養の提供は、管理栄養士等の専門人材と医師等が適切な助言・管理の下でチーム医療により実施することが必要であるが、食材料費の高騰による様々な制約を取り扱うことが、チーム医療を推進するために必要であることから財政支援を行う。

#### (2) 事業内容

【対象施設】病院・有床診療所

【支援額】許可病床数 × 1,600円 × 2か月

【対象期間】令和6年4月～5月（2か月間）

#### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・医療介護総合確保推進法に基づく県計画における事業として計上。  
(地域医療介護総合確保基金：国2/3 県1/3)
- ・病床数×基準単価×月数による

(4) 類似事業の有無

- ・医療機関等物価高騰対策支援金（令和5年度）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	65,975	医療機関への支援金
合計	65,975	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・なし

(2) 国・他県の状況

- ・複数の自治体で類似事業を実施

(3) 後年度の財政負担

- ・なし

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・食材料費の高騰による様々な制約を取り扱うことがチーム医療を推進するために必要であり、地域医療を支えるために県が支援を行うことは妥当である。

# 事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・物価高騰の影響を受ける医療機関に対し、地域における医療の提供体制に支障が生じないよう支援する。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R )	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R )	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

- ・令和 6 年度診療報酬改定までの臨時の措置であるため、指標設定は困難。

### (これまでの取組内容と成果)

令 和 2 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標①目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令 和 3 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標①目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令 和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標①目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	物価高騰により、医療機関等の経営が圧迫されているが、原因は社会情勢によるものであり、公的支援の必要性は高い。
-----------	--

#### ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり  
2：期待どおりの成果あり  
1：期待どおりの成果が得られていない  
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)	
------	--

#### ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	--

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

--

### (次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
- ・単年度事業

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	